12月2日（土）

18時00分～21時（17時50分開場）

会場：**港区立産業振興センター**

ホール小　TEL:03-3578-2558

東京都港区芝 5-36-4　札の辻スクエア 11 階

【アクセス】JR 田町駅から徒歩 4 分、都営三田線三田駅から徒歩 2 分

第３８回学習会

資料代1000円

シリーズ

６回目　**731部隊の細菌戦**

戦後の731部隊 再建準備とその挫折

講師　奈須　重雄　さん（731部隊研究者）

1951年、自衛隊の前身である警察予備隊に増田美保が入隊した。増田は、元731部隊薬剤少佐であり、航空班所属のパイロットであった。1941年には、自ら九七式軽爆撃機を操縦して、中国湖南省常徳の上空からペスト蚤を散布した。細菌戦のプロが何故警察予備隊に入隊したのであろうか。

1955年8月に、陸軍省医務局医事課長であった金原節三大佐が、自衛隊に入隊し、即自衛隊衛生学校長となった。ここから、731部隊再建の活動が始まる。

《今も政府が認めない**731部隊**とは？》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦部隊（のち 731 部隊と称す）を 1930 年代から中国黒竜江省に設けた。731 部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3 千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。他方、細菌作戦は 1940 年から 1942 年にかけて中国の吉林省（農安）、浙江省（衢州･寧波等）、湖南省（常徳）や江西省（広信・広豊・玉山）などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも 3 万人の住民を虐殺。1944 年以降も 731 部隊は米軍に対する細菌戦の発動も準備していた。

731部隊問題関連裁判の裁判日程　傍聴をお願いします！

・**衛生学校記事**　情報公開裁判【東京高裁第７民事部】12 月 4 日（月）進行協議

・**化学学校記事**　情報公開裁判【東京地裁民事第 3 部】12 月 13 日（水）11 時（522 号法廷）

主催:NPO法人　731部隊･細菌戦資料センター

2023.11.10

共同代表　**近藤昭二**［ジャーナリスト］･**王選**［細菌戦犠牲者遺族、義烏市第二次大戦細菌戦問題研究センター主任］･**奈須重雄**[731部隊研究者]

◆**お問い合わせ**：一瀬法律事務所：東京都港区西新橋 1-21-5/ Email：info@ichinoselaw.com　担当元永（もとなが）

Tel:03-3501-5558　Fax:03-3501-5565 /◆ Website：http://www.anti731saikinsen.net/